

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公開番号】特開2011-63085(P2011-63085A)

【公開日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2009-214207(P2009-214207)

【国際特許分類】

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

B 6 0 H 1/08 (2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/32 6 1 3 F

B 6 0 H 1/08 6 1 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月16日(2012.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

そして、図 3 及び図 4 に示されるように、シャッタ 6 4 a ～ 6 4 h が支軸 7 4 を中心として略水平となった開成状態（OPEN）では、最も上方に設けられたシャッタ 6 4 a は、自動車 1 8 の前方側（矢印 A 方向）となる一端部が、ダクト 6 2 の上端壁 6 8 に当接するように設けられ、一方、最も下方に設けられたシャッタ 6 4 h は、前記自動車 1 8 の前方側（矢印 A 方向）となる一端部が、ダクト 6 2 の下端壁 7 2 に当接しないように設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

変位部材 7 8 は、下端部に接続された駆動部 8 0 によって上下方向（鉛直方向）に変位自在に設けられ、例えば、外気温が約 1 0 ℃以下の暖房モード域の場合に、制御装置 2 8 からの駆動信号に基づいて変位部材 7 8 が上方へと変位しシャッタ 6 4 a ～ 6 4 h を閉塞状態（CLOSE）に切り換える一方、前記外気温が約 1 0 ℃以上の冷房モード域の場合には、図 4 に示されるように、前記制御装置 2 8 から駆動部 8 0 へと出力される駆動信号によって変位部材 7 8 が下方へと変位してシャッタ 6 4 a ～ 6 4 h を開成状態（OPEN）へと切り換える。なお、駆動部 8 0 は、例えば、通電作用下に駆動するステッピングモータを有したアクチュエータからなる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

そこで、圧縮機 1 2 から吐出された冷媒は、四方弁 1 4 を介して室内熱交換器 2 2 に供

給され、凝縮される。この際、エンジン４０で発生した熱によって加温された空気（温風）が、室外ファン５２ａ、５２ｂの駆動作用下にダクト６２のカバー部７０とラジエータ４６及び室外熱交換器２４との間の間隙Ｓを通じて自動車１８の前方側（矢印Ａ方向）へと流通する。そして、閉塞状態のシャッタ６４ａ～６４ｈと室外熱交換器２４との間へと流通した後、該室外熱交換器２４の全面にわたって吸い込まれ、熱交換の行われたラジエータ４６を経てエンジン４０側に取り込まれる。